

## 2 各種委員会報告

### 2.1 図書委員会

2019 年度は図書委員会を 4 回開催した。各回の主な審議事項は以下のとおりである。

- |                        |                                                                                                       |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回（6 月 5 日）         | ① 2019 年度図書館各種委員会委員構成について<br>② 2020 年度教育・研究に関する年度計画書の提出について<br>③ 2019 年度図書委員会日程について                   |
| 第 2 回（7 月 8 日）         | 審議事項はないが、主な報告事項は下記のとおりである。<br>① 2020 年度図書館長期・中期計画書及び単年度計画書の提出について<br>② 教学長期ビジョン「グランドデザイン 2030」の提出について |
| 第 3 回（10 月 28 日）       | ① 2020 年度予定経費要求について<br>② 明治大学オープンアクセス方針策定について<br>③ 図書館活用法運営部会運営内規の改正について                              |
| 第 4 回（2020 年 2 月 25 日） | ① 2020 年度図書予算配分について<br>② 2020 年度図書館各種資料申込みについて<br>③ 2020 年度図書館開館スケジュールについて                            |

### 2.2 電子資料分科会

2019 年度は以下の日程で分科会を開催した。審議事項は下記のとおりである。

- 第 1 回（7 月 17 日）：デジタル資料費・逐次刊行物予算の上限，2019・20 年度デジタル資料費・逐次刊行物予算・新規購入申込受付，2020 年中止候補一覧，新規バックナンバー申込
- 第 2 回（9 月 24 日）：2019 年度バックナンバー新規購入申込，2019 年度研究用雑誌・新聞の新規購入申込，2019 年度電子資料（データベース）購読分の新規購入申込，2019 年度電子資料（データベース）買切分の新規購入申込
- 第 3 回（11 月 19 日）：2019 年度バックナンバー新規購入申込，2019 年度研究用雑誌・新聞の新規購入申込，2019 年度電子資料（データベース）購読分の新規購入申込，2019 年電子資料（データベース）買切分の新規購入申込
- 第 4 回（2020 年 2 月 26 日）：2019 年度新規学習用雑誌申込，2019 年度バックナンバー新規申込，2019 年度年度末予算による選定

2019 年度は、前年度実施された PPV の運用変更により、年間の利用動向が安定したことや、前年度審議されたデジタル資料費・逐次刊行物費予算について予算執行状況も考慮しつつ具体的な上限額が設定された。また、予算執行状況から判断し秋学期以降新規購入申込受付を実施し、予算上限額に沿って研究用雑誌・電子資料の新規購入申請について審議を進めた。学習用雑誌・新聞 2 誌（和，冊子），バックナンバー・買切データベース 11 種（和・洋，冊子 3 種・電子 8 種），研究用雑誌・新聞 4 誌（和・洋，冊子 1 誌・電子 3 誌），購読データベース 1 種（洋）が新規契約・購入となった（別項「資料購入一覧」参照）。

雑誌・電子資料費については、大型パッケージ契約解体やデータベース等の利用コスト評価による契約見直し、冊子体雑誌などの中止・電子切替といった一連の取り組みによって一定の成果が出てきてはいるものの、外国語雑誌の価格上昇に起因する支出増加自体は、為替変動や消費税増税などの影響もあり根本的な解消は難しい。冊子体資料の電子化も一層拡大していく中で、今後も引き続き適正な予算執行を進めるとともに、安定的で持続可能性のある教育研究環境を整備する必要がある。

### 2.3 図書館基礎資料選定分科会

本年度はメールによる審議の結果、選定候補から購入資料を決定した。購入内容は別項「図書館基礎資料購入一覧」の通り。

## 2.4 江戸文藝文庫選定分科会

本年度は分科会を招集せず、メーリングリストによる会議の形式で協議・選定を行った。  
その結果、以下2点の資料を購入した。

- 北國順禮縁起 3 巻 / 馬琴作 ; [ 北尾重政画 ]. -- 江戸 : 蔦屋板, 寛政 9 [1797] 自序
- 敵討猫魔屋敷 / 振鷺亭主人著 ; 蹄齋北馬画 . -- 東武 : 上總屋忠助 : 村田屋治良兵衛, 文化 5 [1808]

また、寄贈資料として以下の2点を受入した。

- 亀田鵬斎先生書 . -- [ 書写地不明 ] : 亀田鵬斎 [ 自筆 ], 文化 3 年 [1806]
- 水野稔先生自筆「購入和書覚帳」他・関係資料全 8 点

水野稔先生自筆「購入和書覚帳」の解題については、内村和至編（2019）『水野稔「購入和書覚帳」』090.4/U31-5//H を参照されたい。

## 2.5 日本近代文学文庫選定分科会

6 月に分科会を開催し、日本近代文学文庫選書基準及び選書方法を確認した。  
2019 年度は以下の全 9 点の資料を購入した。

- みなし兒 / 南翠外史著 . -- 春陽堂, 1889. -- ( こぼれまつ葉 ).
- 隣の女 / 紅葉山人 [ 著 ] ; 桂舟 [ 画 ]. -- 春陽堂, 1894.
- 最上川 / 塚原洪柿園著 . -- 春陽堂, 1895
- 薨 / 谷崎潤一郎著 . -- 鳳鳴社, 1914
- 魔群の通過 / 三島由紀夫著 . -- 河出書房, 1949.
- 古賀市 / 浪六著 . -- 青木嵩山堂, 1895.
- ふらんす物語 : 新編 / 永井荷風著 . -- 博文館, 1915.
- 蓼喰ふ蟲 / 谷崎潤一郎著 ; 櫛重装幀 . -- 改造社, 1929.
- 剣 / 三島由紀夫著 . -- 講談社, 1963

## 2.6 学術・教育成果リポジトリ運営部会

2019 年度は学術・教育成果リポジトリ運営部会を 10 月 17 日に開催し、オープンアクセス方針及び実施要領の案について審議を行った。方針の目的、方針適用開始時期、実施要領の内容等について、多くの意見及び質問が挙がり、今後さらに検討が必要な箇所があるとした上で、本方針及び実施要領案を 10 月 28 日開催の図書委員会で諮ることを承認した。

## 2.7 図書館振興資金運営部会

2019 年度は図書館振興資金運営部会を下記のとおり 3 回開催した。

- 第 1 回（5 月 20 日）2019 年度事業計画について
- 第 2 回（2020 年 1 月 15 日）今後の事業計画及び顕彰について
- 第 3 回（2020 年 2 月 25 日）収支残額の積立について

2018 年 4 月に設定した図書館振興資金は、2 年が経過し、これまで多くの方々からご寄付をいただくことができた。資金設定の目的である「図書館の学術資料の継承、特色ある資料の維持・購入及び環境整備」に関する事業の実施については、資金が潤沢になってから展開することとし、2019 年度の資金は全て積立とした。今後の事業計画は部会で検討を進めており、今後、計画案に基づき、資金の受入状況を見つつ進めていく。

## 2.8 図書館紀要編集部会

2019 年度は図書館紀要編集部会を下記のとおり 2 回開催した。

|                        |                                             |
|------------------------|---------------------------------------------|
| 第 1 回（7 月 23 日）        | ①『図書の譜』第 24 号について<br>②『図書の譜』第 24 号の原稿募集について |
| 第 2 回（2020 年 1 月 28 日） | ①『図書の譜』第 24 号の編集について                        |

2019 年度は『図書の譜』第 24 号を刊行した。（A5 版、120 頁、2020 年 3 月 31 日刊行、600 部発行）第 24 号では特に特集は設けず、前号第 23 号の特集「明治大学図書館の特色あるコレクション」を引き継ぐ形で、各種特別文庫の他、研究用基礎資料の紹介を行った。その他、巻頭言は南保館長による『明治大学図書館が抱える課題』、『城市郎文庫展』記念講演会報告、エッセイ、研究ノート、各種研修報告等をご寄稿いただいた。

## 2.9 書評コンテスト選考部会

第 10 回明治大学図書館書評コンテストは、例年通り 10 月に募集を行い、24 編の応募があった。剽窃チェックの上、選考部会員・図書館員有志で採点を行い、12 月 17 日の会議で受賞者 11 名を決定した。2020 年 2 月 3 日には表彰式を中央図書館多目的ホールにて、受賞者交流会をアカデミーコモンカフェパンセにて行い、書評や読書に対する思いを受賞者と選考部会員で語り合うことができた。また受賞作品集を作成し、2、3 月に中央図書館・和泉図書館で受賞作品の展示を行う際に自由配布した。2019 年度から最優秀賞、優秀賞を受賞した 3 名には書評の対象とした図書に対する思いなどをポップとして書いてもらい、一緒に展示を行った。

なお、募集に先立ち、10 月に「書評の書き方講座」（講師：文学部 伊藤氏貴准教授）を駿河台、和泉で行い合計 47 名の参加があった。和泉開催分については録画を行い、10 月から公開（学内限定）をし、74 回の視聴があった。

## 2.10 生田図書館ギャラリー運営部会

生田図書館ギャラリー運営部会は、生田図書館ギャラリーの計画的な運営を目的とし、生田キャンパスに所属する図書館副館長を部会長とし、理工学部及び農学部図書委員各 2 名をもって組織されている。

2019 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から運営部会を招集せずメール審議を行い（審議期間 2020 年 2 月 27 日～3 月 4 日）、2020 年度ギャラリー展示企画の応募案件 7 件及び生田図書館企画 2 件からなる全 9 件について、展示の開催及び年間展示スケジュールが承認された。

## 2.11 図書館活用法運営部会

図書館活用法運営部会は、全学共通総合講座「図書館活用法」を適切に運営することを目的として、図書委員会の下に設置されており、図書館長、副館長、授業コーディネーター、職員で構成されている。2019 年度、授業は、駿河台、生田で各 1 コマ、和泉で 2 コマの合計 4 コマが開講された。会議では、各授業の実施状況を検証するとともに、授業の概要・到達目標等の精査、成績評価方法の見直しなどを行い、次年度の授業計画を策定した。

### 図書館活用法運営部会作業グループ

図書館活用法運営部会作業グループは、図書館活用法運営部会の下に設置されており、各図書館事務室から職員が 1 名選出されている。

2019 年度は 6 回開催し、以下のことを行った。

- ・2018 年度の授業検証および授業指針の更新
- ・アンケート・テスト・リアクションペーパーの実施方法見直しおよび授業評価方法の再構築
- ・2020 年度の授業構成の検討
- ・活用法授業の今後のあり方の検討

## 2.12 閲覧部署連絡会

閲覧部署連絡会は、図書館のサービスを改善するために、閲覧担当部署の円滑な運営を目的として、図書館利用規程に関する事項、貸出・蔵書業務に関する事項、レファレンス・マルチメディア業務に関する事項、その他連絡会が必要と認めた事項について審議する。

2019 年度は閲覧部署連絡会を以下のとおり 3 回開催した。なお、第 3 回はコロナウイルス感染拡大防止のためオンライン（Teams）を活用したオンライン会議となった。

第 1 回（6 月 24 日） iLiswaveJ の閲覧 - オフライン機能の使用について、他 13 項目

第 2 回（11 月 8 日） ポータル予約時の却下理由表示について等、他 13 項目

第 3 回（2020 年 3 月 13 日） 春学期開始延長に伴う対応について等、他 3 項目

審議した重要な事項は以下のとおり。

- ・度重なるシステム障害発生に際し、図書館パッケージシステムの iLiswaveJ（以降「iLiswaveJ」）のオフライン機能を使用するか検討した結果、閲覧規則を確認できない等の数点の懸案事項が確認されたため、採用しないことを決定した。

- ・iLiswaveJ における閲覧規則が非常に複雑になっているため、閲覧規則のパターン簡素化について検討を行ったが、カウンター業務の大きな軽減にはならないことから見送ることとなった。なお、引き続き業務軽減の観点から簡素化の可能性について検討することとした。

- ・特別利用者（館長認定者：別 2）の紹介者において、紹介者が退職等で学内に不在となった場合は、利用者と関係のない者（例えば図書館管理職など）が紹介者とはならず、紹介者が学内にいなければ、利用の継続は認めないこととした。

- ・外部の学生が本学の大学院へ進学し、入学前に図書館を利用するために運用してきた「図書館利用願い」の様式変更をし、併せて大学院事務室等への運用変更を行った。

- ・ライブラリーカード申込書の様式変更や運用見直しを検討し、運用および形態の検討を行う WG を当部会内で立ち上げ検討を開始した。2021 年度の運用変更を目指し引き続き検討していくこととした。

- ・新型コロナウイルス感染拡大抑制のための 2020 年度学年暦の一部変更が示され、春学期開始延長に伴う閲覧サービス対応（貸出中の返却期限日等）について協議した。

## 2.13 利用案内編集分科会

利用案内編集分科会では、関係事務室の職員が構成員となり各利用案内の編集を行っており、現在、事務局は生田図書館事務室が担っている。

今年度の会議では、分科会で取り扱う各利用案内について、それぞれの利用目的や使い方に照らして情報を精査すること、また、2020 年 3 月末に予定されている図書館ホームページのリニューアル内容と整合性のとれたものとするを確認し、次年度に向けて作成、情報の更新を行った。

## 2.14 『らいぶ』（図書館報）編集分科会

2020 年度号（通算第 26 号・2020 年 3 月発行）を発行した。『らいぶ』の基本コンセプトは図書館広報誌であり、手に取りやすい親しみのある表紙になっている。2020 年度号は 2019 年度配布図書館バッグに採用されたデザインを利用した。巻頭では、南保勝美館長が『図書館への誘い』というタイトルでメッセージを寄せている。2 ページ以降は、ポータルサービス、明治大学 4 図書館の特徴と館内マップ、各館のイベント・企画やよく読まれた本の紹介、また図書館を上手に利用するための「図書館活用術」など、イラストや写真を多く入れて分かりやすい図書館紹介パンフレットとした。A4 版、カラー刷り 11 頁、5,900 部発行（うち 900 部は、2020 年 9 月駿河台キャンパスにて開催予定の私立大学図書館協議会総会・研究大会配布用）。

## 2.15 中央学習用図書選書分科会

中央学習用図書選書分科会は、「明治大学図書館中央図書館学習用図書選書分科会運営内規」に基づき、中央図書館事務長を座長とし、座長が指名した中央図書館事務室及び図書館総務事務室の職員により形成される。



本分科会は原則隔週で開催されており、和書 5 社、洋書 2 社の見計らいによる新刊学習用図書の選定や寄贈本の受入可否決定等を行うものである。

2019 年度は、予算が増額されたため、多くの資料を購入することができた。

また、電子ブックについては、「Oxford Scholarship Online (OSO)」の EBA 開始、2017 年度から開始した丸善雄松堂「Maruzen eBook Library」の試読サービスを継続し、併せて紀伊國屋書店の「KinoDen」のトライアルを実施した。「KinoDen」の利用について、利用者へアンケートを実施し回答（50 件）を得て分析し、採用するか否かについて検討した結果、それぞれの長所・短所があり現段階では差異がそれほど見いだせないため採用を見送ることとした。

## 2.16 オンラインサービス WG

毎年、図書館 HP の改編について議論がなされ、最終的にはまとも先送りとなっていた。2019 年度は、この現状を打破すべく、明確に図書館 HP のリニューアルの方向性を出すため、オンラインサービス WG のメンバーから少数精鋭で構成した「新図書館 HP 検討 WG」を図書館スタッフ会の下に新規に立ち上げて検討することとした。そのため、当 WG の活動は行わなかった。

## 2.17 電子資料 WG

2019 年度は、春学期の予算執行状況を確認し、電子資料費・逐次刊行物費の予算上限額や新規購入申込受付可否について検討を行った。また、PPV 利用の運用変更により、重複ダウンロードが多数生じていることが判明したためその対応策を検討した。その他、洋雑誌の利用状況調査や購読中止候補タイトルの洗い出しなども行った。WG 開催日と議題は下記の通りである。

- 第 1 回（7 月 3 日）：逐次刊行物 + 支払手数料の予算上限について、今後の新規申込受付について、冊子体中止・電子切替候補、電子ジャーナル中止候補、契約見直し後の状況調査について
- 第 2 回（10 月 28 日）：洋雑誌利用状況調査について（館内利用状況、ILL/DDS 利用状況）、冊子体雑誌の除籍方針の検討について

## 2.18 リテラシーイベント WG

12 月に和泉図書館で「スマホで分かる！就職データベース講習会」を 3 回行い、計 65 名の参加があった。この講習会は昨年度生田図書館で開催し、好評を得た講習会を改良して行ったので、職員間で知見の共有を図ることができた。1 月には生田図書館で同様の講習会を実施したが、例年と異なり、生田就職キャリア支援事務室主催の、学部 3 年生と院 1 年生を対象とした参加必須行事「就職活動ガイダンス」の中に、生田図書館事務室主催の「スマホ就活情報収集講座」を挿入するかたちで実施した結果、合計 807 名もの学生が参加した。中野図書館では、読書推進イベントとして今年読んだ本の中でおすすめ本をカードに記入しシェアするという「令和元年！あなたの推し本 教えてください！」を開催した。学生・教職員・校友と幅広い利用者からの投函があった。中央図書館では新着図書を帯とともに展示し、利用促進を図った。読書推進学生団体 Meiji Book Avenue は、「ビブリオバトル in 明大祭」を 11 月 3 日（日）に開催し、4 人のバトラーが約 20 名の聴衆の前でおすすめの図書の魅力を語り、併せて室内に本紹介ポップ展示を行った。

## 2.19 新図書館 HP 検討 WG

2019 年は明確に図書館ホームページ（以下「HP」）のリニューアルの方向性を出すため、オンラインサービス WG のメンバーの中から 4 名（後ほど 5 名）で構成した「新図書館 HP 検討 WG」を図書館スタッフ会の下に新規に立ち上げて検討することとなった。図書館 HP を、図書館が継続して管理していくのか、もしくは大学が管理するサーバーに乗り換えて運用するかについて検討を重ね、以下のメリットを見出した。

【部会開催回数】4 回（2019 年 5 月 17 日、5 月 31 日、6 月 13 日、7 月 11 日）

※それ以外に、9 月以降、デザイン構築やコンテンツ作成にあたり、適宜 WG メンバー間でメールでの確認あり。

①大学の CMS（コンテンツ管理システム）を利用することで大学 HP の編集方法が統一され、図書館外から図書館へ職員が異動してきても各館の広報連絡員として大学 HP と同様の方法で更新することが可能なため、運用方法が統一される点

②今後大学 HP の改修に併せて図書館 HP も大学全体の予算でデザインが変更される見込みから、現代に即したコンテンツを提供できる点

③モバイル端末の普及により、一つのテンプレートでも PC/ モバイル両対応できるレスポンスデザインで公開できる点

等を考慮し、大学が管理するサーバーに乗り換えて 2019 年度中に日本語版の図書館 HP コンテンツを公開することを決定した。その後図書館スタッフ会で答申し承認された。コンテンツ作成については、各部署へ振り分けて期限までに作成依頼を行い、3 月 30 日（月）、大学 HP の中に約 12 年ぶりに図書館 HP をリニューアルすることができた。

今後は、まだ英語版等の図書館 HP が旧来のままであるためリニューアルの検討をしていかなければならないが、図書館運営から大学運営のサーバーに移行したことにより、英語版も容易に変更できることから、この WG は解消して今後はオンラインサービス WG で検討して行くこととする。